

「生活道路対策エリア」の取組事例(栃木県宇都宮市峰地区)

うつのみや みね
ハンブ・狭さく・
歩行空間の確保(外側線敷設)

- 峰地区は、国道4号や国道123号などの幹線道路に囲まれ、大学や小学校が近接・立地
- ビッグデータの分析から、30km/h超過割合・平均速度が高い危険な状況であることを確認
- 峰小学校北側区間に、速度抑制対策として、可搬型ハンブ・狭さくを設置
歩行者の安全確保として、歩行空間の確保(外側線敷設)を実施
- 峰小学校北側区間では、30km/h超過割合は微かな減少
可搬型ハンブ部東側では、平均速度が20km/h未満に低下
- 効果検証結果の地元説明を踏まえ、今後は歩行空間の確保(外側線敷設)の継続を実施

取組の概要



ワーキンググループ実施状況

○ワーキンググループの開催

関係機関で構成されるワーキンググループを開催し、生活道路の安全対策を検討

- H28. 7: 既存データや現地踏査による実態把握
- H28. 12: エリアの課題、対策方針の確認
- H29. 4: 進め方の確認
- H29. 8: 対策案のとりまとめ、効果計測の方法
- H29. 12: 実証実験計画、地元や記者発表等の周知状況
- H30. 3: 実証実験の実施状況、効果計測の結果(速報)
- H30. 7: 実証実験効果計測の結果(詳報)、今後の予定

ビッグデータ分析結果



資料: ETC2.0プローブデータ(対策前H28.4~29.3、対策中H30.2.23~30.3.7)

整備状況



可搬型ハンブ・狭さくを設置(H30.2.23~3.8)、外側線を敷設(H30.2.23~)

整備効果

○速度指標の変化状況

	30km/h超過割合		平均速度		
	エリア全体	峰小学校北側区間	エリア全体	峰小学校北側区間	ハンブ部東側
対策前	36%	23%	23km/h	21km/h	24km/h
対策中	35%	21%	23km/h	21km/h	20km/h未満
	(▲1%)	(▲2%)	(±0km/h)	(±0km/h)	(▲4km/h)

【出典】1:履歴点データ:ETC2.0プローブデータ(対策前H28.4~29.3、対策中H30.2.23~30.3.7)
2:背景地図:国土地理院